

事ニヨリ、ソノ冤罪タル事ヲ白日ノ下ニ曝露シ得ルノデアル。思フニ現行身分ニ關スル皇室典範ト華族令以外民事刑事人事一切ノ諸法規ハ封建の身分ヲ廢止シ所謂國民平等ヲ規定シ絕對ニ所謂「特殊部落民」ナルモノ、身分ヲ認メテキナイ。否、タ、ニ「特殊部落民」タル身分ヲ認メテキナイバカリデナク、斯クノ如キ封建の身分の差別ヲ舊來ノ陋習ナリト宣言シ、明治四年太政官令ハ「穢多非人ノ稱ヲ廢シ身分職業共平民同様キス」ト達シテ、法律上ニ於ケル「特殊部落民」ノ存在ヲ解消セシメ斷然人民事刑事一切諸法規ノ差別的取扱ヲ禁ジテキル。

ソレ故ニ上申人ハ封建の陋習ノイデオロギニ錯覺シテ現行人民事刑事一切ノ諸法規上ニ存在セス、且ツソノ差別的取扱ヲ禁ゼテレテキル封建の身分ノ存在ヲ容認シ、ソレヲ前提トシ、被告山本賢太郎、同久本米一ガソノ「特殊部落民」タル身分ヲ告知セス、石原政江ヲシテ被告米一ノ結婚申込ニ對スル同人ノ

合意承諾決定ヲ錯誤ニ陷レタリトイフ被告兩名ノ行爲（存在セザル身分ノ不告知ノ不作爲）ヲ以テ結婚誘拐罪ヲ構成スルト認定シタル確定判決ハ、結局、罪トナラザル事實ヲ有罪トシタル誤判ナルコトヲ指摘スル。

尙ホ上申人ハ以上ノ所信ノ正確ヲ裏付ケルタメニ左ノ如キ、學者ノ本件ニ對スル批判ヲ引用スル。

「結婚誘拐罪ト營利目的誘拐罪トハ根本的ニ異別ノ取扱ヒヲ要シ、猥リニ「甘言」ノ一事ヲモツテ、結婚誘拐罪ノ誘惑手段タル事ヲ確定シエザルハ勿論デアル。シカラバ、即チ、カ、ル甘言ナル積極的作爲的詐周（廣義ノ詐周）ニサヘモ全然屬セザル「舊特殊身分」ノ黙秘ノ如キニ至ツテハ、イカナル解釋ニ從フモ、本條ノ適用ニ於ケル「誘惑手段」タラザルコトハ、多言ヲ俟タナイガ説明スルト

1 營利ヲ目的トスル誘拐罪ニヨツテハ「誘拐罪ノ手段ハ必シモ詐